

	評価委員会の評価結果	研究開発機関の対処方針
各 研 究 部 等 の 評 価	<p>期待する。論文作成を目的とした課題の選定の考慮は必ずしも期待しない。</p> <p>【③共同研究の状況、産学官の連携及び国際協力等外部との交流】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 他省庁との連携を必要とし、現状で手一杯の感がある。共同研究のスタイルを取ること、行政関連の研究分野・課題の選定だけの現状から選択の余地が広がるのではないか。 ◆ 食品安全委員会やJECFAとの関係での役割、厚生労働省における役割をさらに明確にし、当研究所の発展に繋げることを期待する。 	<p>り組んでいる。論文作成を目的とした研究課題を選定している訳ではないが、全ての研究課題について、得られた研究成果は、公表すべきだと考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● すでに OECD の高生産量化学物質の初期評価では、経済産業省、環境省との共同作業を行っているところであるが、今後さらに共同研究を活発化し、研究課題選定の幅を広げたいと考えている。 ● 食品安全委員会、OECD、環境省、経済産業省等の委員会における役割は非常に重要なことと考えており、今後ともこれらの委員会に貢献して行きたい。